

# 10 新潟のくだものづくりは どうなっているの？



新潟県のくだものは、なしやももなどがおにも信濃川ぞいの新潟市(南区)や加茂市などで、かきは佐渡市や新潟市(西蒲区)で多く栽培されています。

なし、かき、ももは全国的にも栽培が盛んですが、特に西洋なしの産出額は全国2位で、明治時代の終わりごろに取り入れられた「ルレクチエ」という品種が、高級くだものとして人気があります。

新潟県では400年前ころから、かきやもも

が栽培されてきました。特にかきの栽培は江戸時代に佐渡ではじまり昭和のはじめに「平核無」という品種をとりいれてから生産がふえました。現在、新潟県でとれたかきは“おけさ柿”という名前で出荷され、全国的にも有名です。

また、最近では農家では新しい品種を取り入れられたり、大きな実になるように、よぶんな実を取って品質の良いものを生産するように工夫しています。

## ●新潟のくだもの



かき  
(品種:平核無)



日本なし  
(県育成品種:新美月)



西洋なし  
(品種:ルレクチエ)

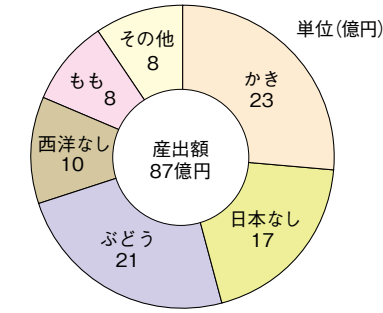
## 〈新潟の主なくだもの〉

(2024年、令和6年)

出荷時期	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	代表産地	全国順位	収穫量(t)			
										5,000	10,000	15,000	20,000
かき			刀根早生(とねわせ)					佐渡市 新潟市	5位	10,600t 全国の6.3%			
			平核無(ひらたねなし)										
なし	日本なし		幸水・豊水					新潟市 加茂市 三条市	日本なし 8位 西洋なし 3位	5,820t 全国の3.4%			
			あきづき		新こう							1,620t 全国の6.4%	
										西洋なし(ルレクチエ)			
ぶどう			(ハウス)巨ぼう					新潟市 聖籠町 上越市	15位	2,040t 全国の1.2%			
もも								新潟市 加茂市	8位	1,740t 全国の1.6%			
				はくほう・あかつき									
										白桃(はくとう)			
いちじく								新潟市・新発田市		樹井(ますい)ドーフィン			

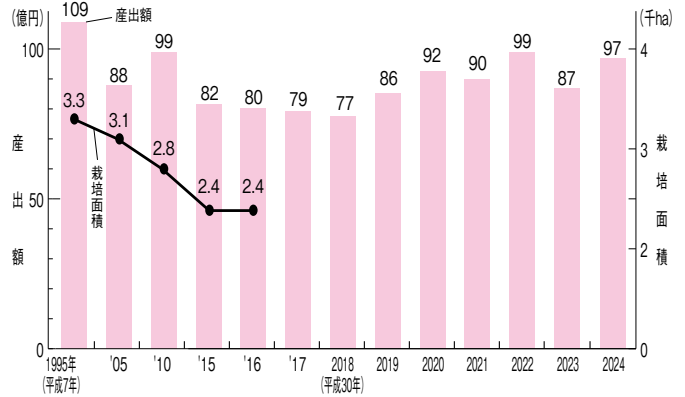
農林水産省「作物統計」

●くだものの産出額のわりあい  
(2023年、令和5年)



農林水産省「生産農業所得統計」

●くだものの産出額と栽培面積の  
移り変わり



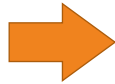
農林水産省「生産農業所得統計」、「作物統計」  
2017年から栽培面積のデータなし

●くだもののしごとの例

〈なしづくりの1年のしごと〉

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
仕事		よぶんな枝を切る		花粉をつける	多すぎる実をとる 実に袋をかける				収穫をする			よぶんな枝を切る

●おいしくくだものを作るための工夫

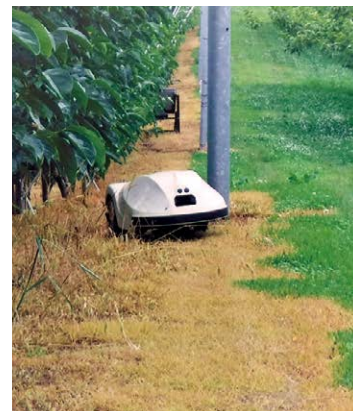


大きい実がなるように多すぎる実をとる“まびぎ”作業(日本なし)



虫や病気をふせぐために果実に袋がけをする作業(西洋なし)

スマート技術の活用  
「自走式草刈り機」



▲草刈りロボットが草を刈りながら、園地を自動で走り回ってくれます。